



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年11月13日

東

上場会社名 株式会社宇野澤組鐵工所 上場取引所
 コード番号 6396 URL <http://www.unozawa.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 宇野澤 虎雄
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役管理本部長（氏名） 田村 博 (TEL) 03-3759-4191
 兼経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,867	△1.6	△29	—	△33	—	△37	—
26年3月期第2四半期	1,898	6.8	△22	—	△24	—	37	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年3月期第2四半期	△3.32		—					
26年3月期第2四半期	3.39		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	6,591	1,510	22.9
26年3月期	6,321	1,534	24.3

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 1,510百万円 26年3月期 1,534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※27年3月期の配当予想は未定です。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご確認ください。

3. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	5.9	50	—	35	—	5	—	0.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期2Q	11,200,000株	26年3月期	11,200,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	22,884株	26年3月期	22,479株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年3月期2Q	11,177,474株	26年3月期2Q	11,177,673株
----------	-------------	----------	-------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては発表日現在の将来に関する見通し・計画に基づく予測が含まれており、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績が記載の予想数値と異なる場合があります。平成27年3月期の配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案し配当額を決定次第、速やかに開示いたします。なお、上記業績額予想に関する事項は添付資料2ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果により大手企業の収益や雇用情勢の改善が進み、景気は穏やかな回復基調が続いているものの、消費税率引き上げによる個人消費への影響が一部に見られることや、原材料価格の高騰やエネルギーコストの上昇、海外景気の下振れリスクに対する懸念や国際的な政情不安の影響等、先行きには不透明感を残す状況が続いております。

当社を取り巻く環境としましては、中小企業の業況回復は大企業と比べて相対的に遅れていること、また当社の受注・売上に直接的な影響が大きい国内設備投資が引き続き盛り上がり欠けることから厳しい状況が継続しております。

このような経営環境のもと、当社の業績は売上高1,867百万円(前年同四半期比1.6%減)となりました。損益面におきましては、営業損失29百万円(前年同四半期は営業損失22百万円)、経常損失33百万円(前年同四半期は経常損失24百万円)、四半期純損失37百万円(前年同四半期は四半期純利益37百万円)となりました。

セグメント別の概況は以下の通りです。

① 製造事業

売上高につきましては、当第2四半期会計期間におきましては、液晶関連の真空ポンプやインド向けの大型装置等の出荷が進みましたが、第1四半期における前年同四半期比32.2%の大きな減少を補えず、当第2四半期累計期間では1,603百万円と前年同四半期比2.0%の減少となりました。

損益面につきましては、セグメント損失220百万円(前年同四半期はセグメント損失213百万円)の計上となりました。売上高を製品別に示しますと、真空ポンプは801百万円(前年同四半期比13.1%減)、送風機・圧縮機は316百万円(前年同四半期比38.5%増)、部品および修理は478百万円(前年同四半期比0.1%増)、ドレンポンプ等のその他は6百万円(前年同四半期比12.2%減)の結果となりました。

なお、当四半期末の受注残高は、前年同四半期比39.6%増の954百万円となっております。

また、輸出関係におきましては、インド向けの大型案件がありましたが、前年同四半期の中国向け大型案件の反落等を補えず、売上高は343百万円(前年同四半期比19.9%減)となりました。

② 不動産事業

オフィスビル賃貸市場の底打ちにより、売上高は264百万円(前年同四半期比0.9%増)、セグメント利益191百万円(前年同四半期比0.3%増)の計上となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間の財政状態は、前事業年度末と比べ、総資産は270百万円増加し6,591百万円、負債は294百万円増加し5,081百万円、純資産は24百万円減少し1,510百万円となりました。総資産の増加は、現金及び預金が148百万円、受取手形及び売掛金が98百万円、たな卸資産が163百万円増加したこと等が主な要因です。

負債の増加は、支払手形及び買掛金が261百万円増加したことが主な要因です。

純資産の減少は、利益剰余金が37百万円減少したことによるものです。この結果、自己資本比率は前事業年度末比1.4%低下し、22.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末より148百万円増加し、1,790百万円となりました。

当第2四半期累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は81百万円の増加(前年同期は31百万円の増加)となりました。主な要因は、減価償却費70百万円、売上債権の増加98百万円、たな卸資産の増加163百万円、仕入債務の増加261百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は90百万円の増加(前年同期は179百万円の増加)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出50百万円、定期預金の払戻による収入100百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は23百万円の減少(前年同期は74百万円の減少)となりました。主な要因は、長期借入金の返済・収入による純支出31百万円です。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は現在の事業環境下、入手可能な情報に基づき最善の経営方針を立案するよう努めておりますが、景気の先行きは不透明であり、当社を取り巻く事業環境は厳しい状況が続くものと予想されます。このような状況下、受注の確保・原価低減及び諸経費の削減に重点を置いた諸施策を実施するとともに、業務の質を高め、諸施策を迅速かつ確実に遂行し、環境変化に強い利益体質を確立するよう努めてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,641,926	1,790,155
受取手形及び売掛金	1,191,391	1,289,903
たな卸資産	598,786	762,188
その他	49,778	20,220
流動資産合計	3,481,881	3,862,468
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,510,358	1,475,972
土地	631,643	631,643
その他(純額)	98,876	110,317
有形固定資産合計	2,240,878	2,217,933
無形固定資産	5,451	4,784
投資その他の資産		
その他	602,551	515,808
貸倒引当金	△9,136	△9,103
投資その他の資産合計	593,414	506,704
固定資産合計	2,839,744	2,729,422
資産合計	6,321,626	6,591,891
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	621,785	883,107
短期借入金	1,042,136	1,062,160
未払法人税等	29,504	5,887
賞与引当金	63,602	62,322
その他	203,414	223,359
流動負債合計	1,960,441	2,236,836
固定負債		
長期借入金	1,906,794	1,863,264
退職給付引当金	438,576	453,789
役員退職慰労引当金	118,600	122,860
その他	362,766	404,845
固定負債合計	2,826,737	2,844,759
負債合計	4,787,178	5,081,596
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,000	785,000
資本剰余金	303,930	303,930
利益剰余金	261,448	224,364
自己株式	△7,051	△7,117
株主資本合計	1,343,327	1,306,178
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	191,119	204,117
評価・換算差額等合計	191,119	204,117
純資産合計	1,534,447	1,510,295
負債純資産合計	6,321,626	6,591,891

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,898,307	1,867,618
売上原価	1,633,622	1,580,848
売上総利益	264,685	286,770
販売費及び一般管理費	287,143	315,988
営業損失(△)	△22,457	△29,218
営業外収益		
受取利息	512	465
受取配当金	3,257	3,849
その他	18,918	14,016
営業外収益合計	22,687	18,331
営業外費用		
支払利息	23,127	21,949
その他	1,309	762
営業外費用合計	24,436	22,712
経常損失(△)	△24,206	△33,599
特別利益		
保険解約返戻金	67,456	-
固定資産売却益	1,242	-
特別利益合計	68,699	-
特別損失		
固定資産除却損	884	434
特別損失合計	884	434
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	43,607	△34,034
法人税等	5,746	3,049
四半期純利益又は四半期純損失(△)	37,861	△37,084

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	43,607	△34,034
減価償却費	64,855	70,005
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△48	△33
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,017	△1,279
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,886	15,212
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,072	4,260
受取利息及び受取配当金	△3,769	△4,315
支払利息	23,127	21,949
固定資産除却損	884	434
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,242	-
保険解約返戻金	△67,456	-
売上債権の増減額(△は増加)	△8,911	△98,512
たな卸資産の増減額(△は増加)	82,307	△163,402
その他の資産の増減額(△は増加)	2,826	30,846
仕入債務の増減額(△は減少)	△56,024	261,322
その他の負債の増減額(△は減少)	△24,266	22,779
小計	58,092	125,234
利息及び配当金の受取額	3,828	4,397
利息の支払額	△25,840	△22,034
法人税等の支払額	△5,029	△25,930
法人税等の還付額	434	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,484	81,666
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,807	△50,318
有形固定資産の売却による収入	1,430	-
貸付金の回収による収入	7,924	5,975
定期預金の払戻による収入	-	100,000
預り保証金の返還による支出	△17,354	-
預り保証金の受入による収入	1,534	34,894
保険積立金の解約による収入	206,919	-
その他	△3,007	△397
投資活動によるキャッシュ・フロー	179,638	90,153
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,000	8,000
長期借入れによる収入	395,000	401,000
長期借入金の返済による支出	△473,483	△432,506
自己株式の取得による支出	△139	△65
配当金の支払額	△7	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,630	△23,590
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	136,492	148,229
現金及び現金同等物の期首残高	1,324,077	1,641,926
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,460,569	1,790,155

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期会計期間(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期会計期間(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	製造事業	不動産事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,636,081	262,226	1,898,307
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,636,081	262,226	1,898,307
セグメント利益又は損失(△)	△213,070	190,612	△22,457

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額(営業損失)との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	製造事業	不動産事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,603,042	264,575	1,867,618
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,603,042	264,575	1,867,618
セグメント利益又は損失(△)	△220,440	191,221	△29,218

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額(営業損失)との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(セグメント別売上高)

(単位：千円)

製 造 事 業	前第2四半期 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで		当第2四半期 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで		対前期比増減	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	増減率%
製品別						
真空ポンプ	922,532	48.6%	801,729	42.9%	△120,802	△13.1
送風機・圧縮機	228,737	12.0%	316,901	17.0%	88,163	38.5
部品及び修理	477,601	25.2%	478,081	25.6%	480	0.1
そ の 他	7,210	0.4%	6,330	0.3%	△880	△12.2
製造事業計	1,636,081	86.2%	1,603,042	85.8%	△33,038	△2.0
内(輸出品)	(428,659)	※(22.6)	(343,159)	(18.4)	(△85,499)	(△19.9)
不 動 産 事 業	262,226	13.8%	264,575	14.2%	2,348	0.9
合 計	1,898,307	100.0%	1,867,618	100.0%	△30,689	△1.6

(注) ※の輸出品構成比率は売上高合計に対するものです。

(製造事業受注高及び受注残高)

(単位：千円)

製 造 事 業	受 注 高			受 注 残 高		
	前第2四半期	当第2四半期	対前期比増減	前第2四半期	当第2四半期	対前期比増減
製品別						
真空ポンプ	824,516	1,067,640	243,124	359,730	514,903	155,172
送風機・圧縮機	203,753	384,700	180,947	189,067	347,663	158,596
部品及び修理	531,838	476,109	△55,729	121,176	91,715	△29,460
そ の 他	19,990	6,880	△13,110	13,780	550	△13,230
合 計	1,580,098	1,935,330	355,232	683,754	954,832	271,077